

原料費調整制度に基づく2023年10月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。なお、激変緩和対策期間のため、政府の支援による15円/m³(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2023年5月から2023年7月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3ヵ月の平均原料価格			→ 反映				
			→ 反映				
			→ 反映				

○2023年10月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			2023年9月検針分	2023年10月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	786.50 円	196.79 円	210.55 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	891.00 円	187.32 円	201.08 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,961.30 円	178.00 円	191.76 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2023年5月から2023年7月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	88,550 円/トン (10円未満四捨五入)
2023年5月から2023年7月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	75,290 円/トン (10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 88,550 円/トン×0.9748 + 75,290 円/トン×0.0404	89,360 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格－基準平均原料価格)	89,360 円 - 54,690 円 = 34,600 円/トン (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.075 円
ガス料金激変緩和対策事業による支援単価(1m³あたり)*	-15 円(税込)
2023年10月分検針の調整額(1m ³ あたり)	34,600 円×0.075 円÷100×1.10=28.54 円 (小数点第3位切り捨て) 28.54 円 - 15 円 = 13.54 円(税込)
2023年9月分検針の調整額(1m ³ あたり)	-0.22 円(税込)
(10月分)対(9月分)増減(1m ³ あたり)	13.76 円(税込)

2023年10月分の単位料金を1m³あたり13.54円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2023年9月分料金	2023年10月分料金	影響額
20m ³	4,637円	4,912円	275円

※詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)